

商学コース

専攻分野：商学

流通システム論 演習

野木村 忠度 教授



流通システム論演習では、商取引を巡る諸活動に対し、社会的・個別的な観点から研究を進めていく。流通システムを理解するためには、商取引が行われる場となる流通と個別の商取引となるマーケティングと商業についての理解が必要となる。この流通システムの理解を深めるために、文献の講読を中心に行い、実際の社会と連動させて議論を進めていく。そのため、演習を希望する場合は、流通（商業学）、マーケティングについて課題意識を有している学生が望ましい。

担当教員の研究領域は、主に流通政策である。取引活動を展開する中で流通システム内において問題が、市場システムに負の影響を及ぼす場合がある。市場システムで生じる問題について、その発生要因を検討した上でどのような対策（政策）が適切に設けられるべきか、について研究を行っている。